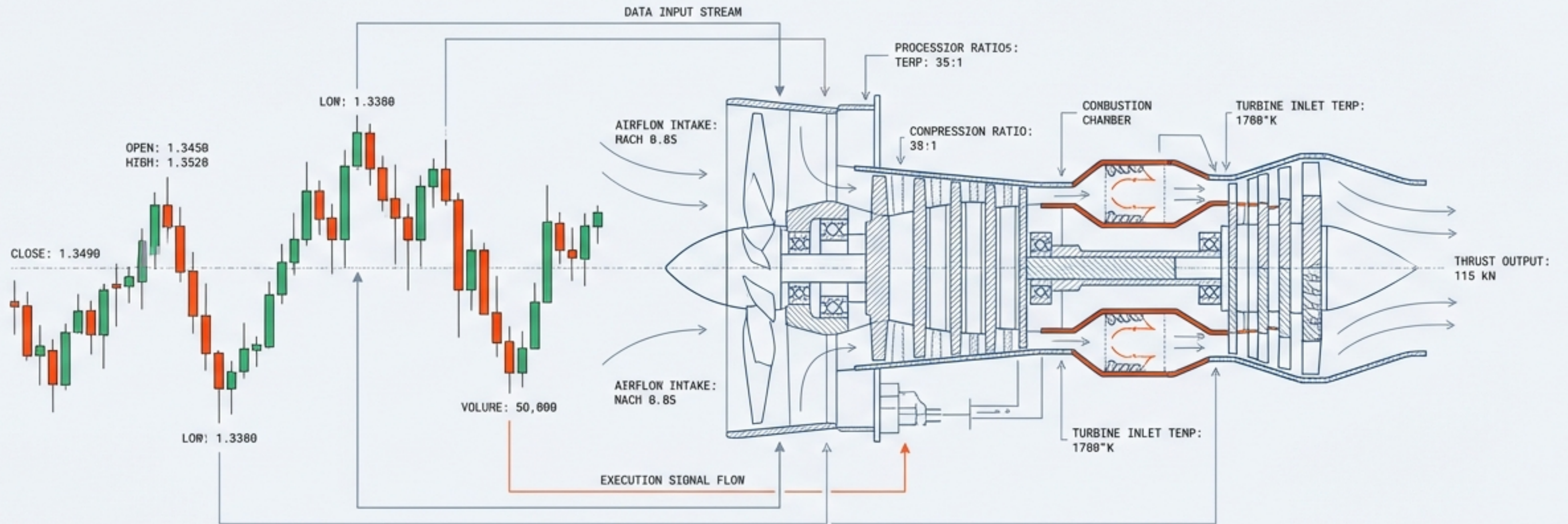


スイングトレード自動取引システム 利用ガイドブック

感情過剰型（ミーンリバージョン）戦略による完全自動運用



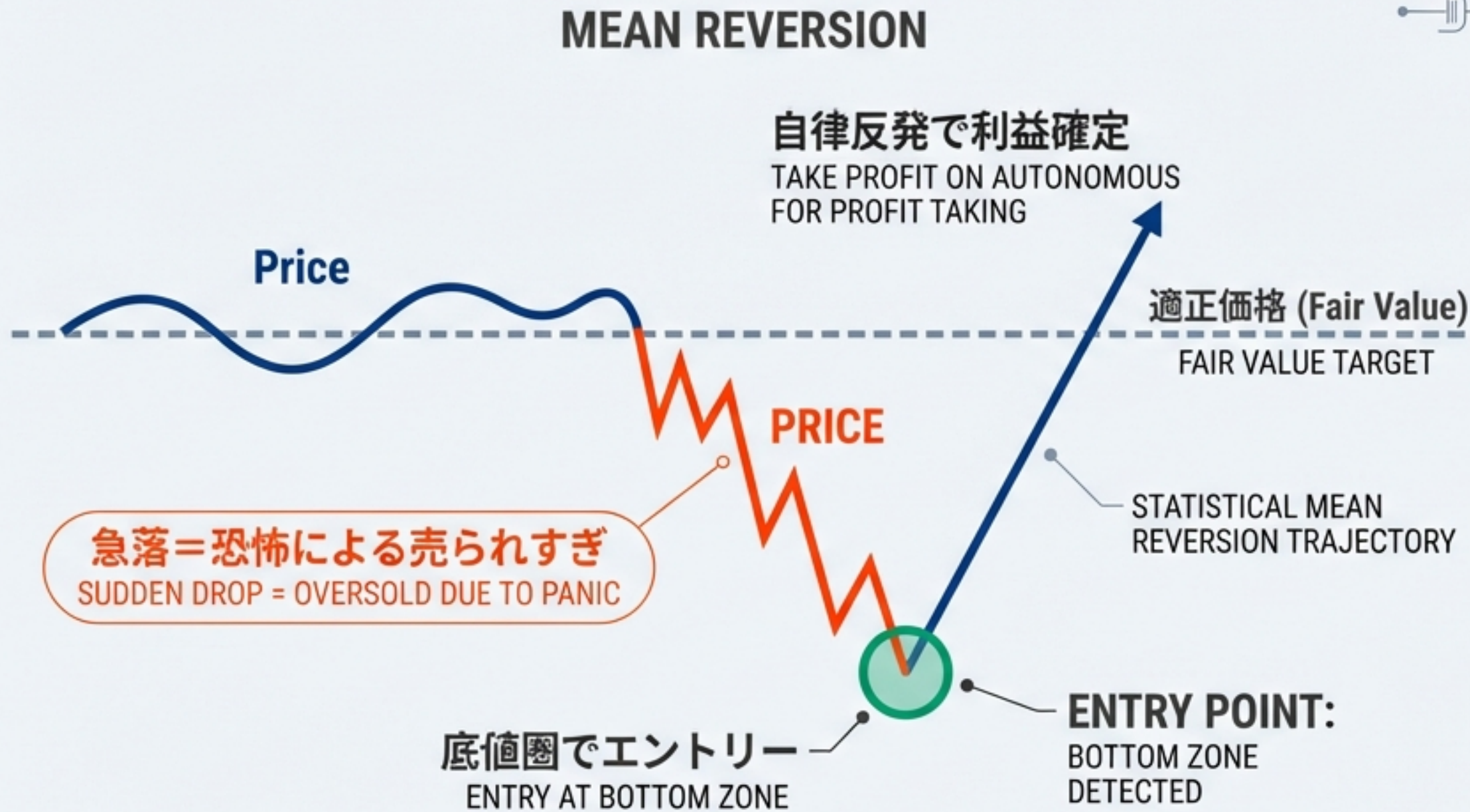
SYSTEM VERSION 1.0 | AUTOMATED TRADING PILOT MANUAL

戦略コンセプト：感情過剰の是正を狙う

MODEL: REVERSION_01 REV A
DATE: 2024.05.20
SYSTEM: FINANCIAL INSTRUMENT ANALYSIS

STRATEGIC CONCEPT: EMOTION-DRIVEN CORRECTION

MEAN REVERSION



基本戦略 BASIC STRATEGY

逆張りスイングトレード
CONTRARIAN SWING TRADE

優位性 ADVANTAGE

投資家のパニック売りが発生した瞬間の「歪み」を検知し、統計的な平均回帰 (Mean Reversion) を狙い撃つ。

エントリーロジック：6つの厳格な条件

MODEL: REVERSZON_01 REV A
DATE: 2024.05.20
SYSTEM: FINANCIAL INSTRUMENT ANALYSIS

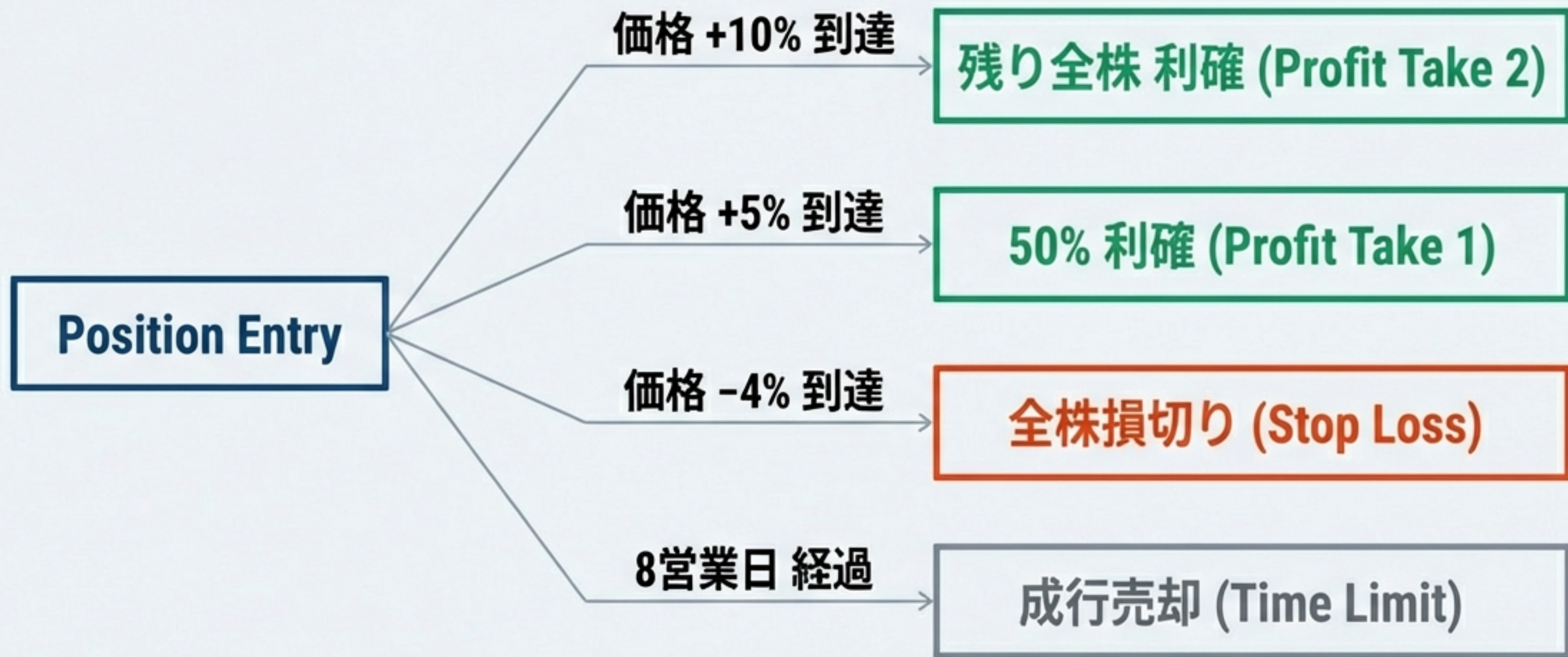
PRE-FLIGHT CHECKLIST

- 1. 下落率：直近3営業日で -4% 以上下落
- 2. 出来高：当日出来高が20日平均の 1.3 倍 以上
- 3. RSI：14日RSIが 30 以下
- 4. ボリンジャーバンド： $\%B$ が 0.05 以下
- 5. 移動平均乖離率： -6% 以下
- 6. 市場環境：日経VI < 25 (急落相場回避)

暴落時ではなく、「通常相場の一時的な急落」のみを拾う設計。

決済ロジック：利益確保とリスク管理

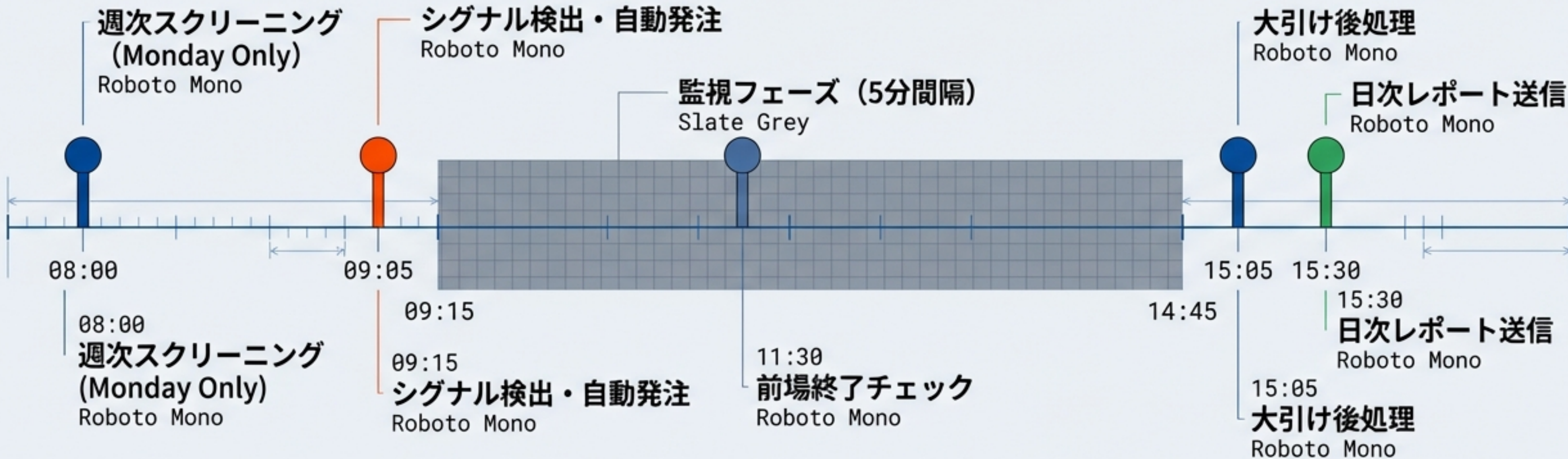
MODEL: REVERSZON_01 REV A
DATE: 2024.05.20
SYSTEM: FINANCIAL INSTRUMENT ANALYSIS



感情を排した機械的な決済により、大損失を防ぎつつ利益を積み上げる。

自動運用のタイムライン

AUTOMATED OPERATION TIMELINE



ユーザーの操作は不要。システムがすべてバックグラウンドで処理します。

Roboto Mono

事前準備と必須環境



Python環境
Version 3.10以上



証券口座
SBI証券



通知用メール
Gmailアカウント



AIフィルタ
OpenAI APIキー

重要：Gmailアプリパスワードの取得

Googleアカウント設定
→ セキュリティ

2段階認証を有効化

アプリパスワードを生成
(.envで使用)

すべてのステップを完了し、生成されたパスワードを.envファイルに設定してください。

初期設定：2つの設定ファイル

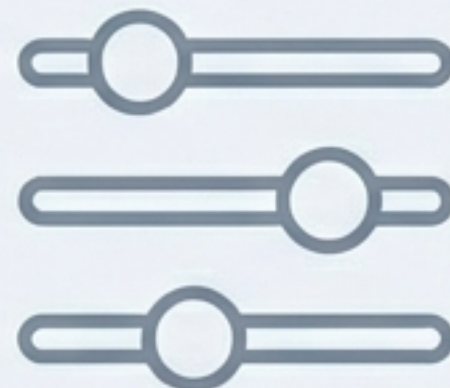
Secrets (.env)



- 認証情報
 - SBI ID / Password
 - Gmail App Password
 - OpenAI API Key

外部接続のための「鍵」を管理。

Strategy (config.yaml)



- 運用資金
- リスク許容度
- 取引ルール

システムの「振る舞い」を定義。

初回起動前に config.yaml の資金設定を確認してください。

システムの起動とモード選択

<p>SAFE</p> 	<p>TEST MODE (Recommended)</p>	<p>Command: <code>--mock-broker --mock-ai</code> 架空の取引で動作確認。資金は動きません。</p>
<p>LIVE</p> 	<p>PRODUCTION MODE</p>	<p>Command: (No mock flags) 実際の資金を使用してSBI証券で発注します。</p>

Key Options

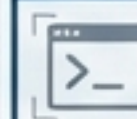
<code>--web</code>	Webダッシュボードを有効化
<code>--run-once</code>	1回だけ実行して終了

コックピット：Webダッシュボード



Legend

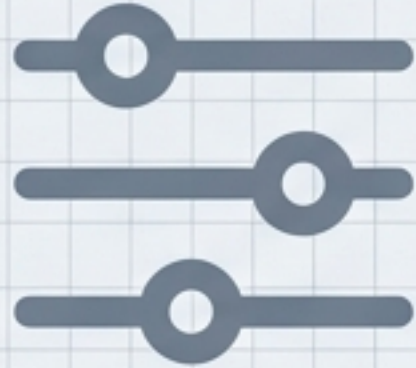
- 1** 1. **ダッシュボード (/)**
: 資産状況、リスク状態の概要
- 2** 2. **ポジション (/positions)**
: 現在保有している銘柄と損益
- 3** 3. **銘柄リスト (/universe)**
: スクリーニングされた投資候補
- 4** 4. **取引履歴 (/trades)**
: 過去の売買記録



<http://localhost:5000>

銘柄選定：スクリーニング機能

STEP 1: 条件設定 (Setup)



「銘柄リスト」画面で「条件を編集」。市場区分、時価総額、出来高、株価範囲を設定。

STEP 2: 実行 (Execute)



「保存してスクリーニング実行」。システムがJPXデータ等を解析。

STEP 3: 結果確認 (Review)



抽出された銘柄リストが自動更新。翌日の取引対象へ。



月曜朝 8:00 には自動で定期実行されます。

日常の運用ルーチン

Morning Check (09:00~)

- システムは起動しているか？
- エラーログは出ていないか？

Evening Check (15:30~)

- 日次レポートメールは届いたか？
- ポジション状況（利確・損切り）の確認

Weekly (Monday)



自動スクリーニング結果の確認。必要に応じて条件を見直し。

設定変更とチューニング

Webダッシュボード (Web Dashboard)



対象: スクリーニング条件



反映: 即時反映 (Immediate)

設定ファイル config.yaml (Configuration File)



対象: 資金設定、リスク許容度

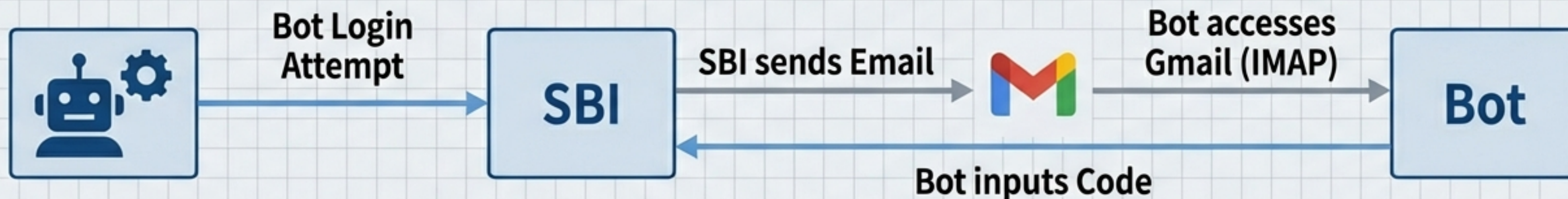


反映: 再起動が必要 (Requires Restart)

ポジションサイズは「資金設定」と「株価」に基づき自動計算されます (付録参照)。

トラブルシューティング：SBI証券連携

Device Authentication Automation



Checklist for Errors

- Email address matches in .env and SBI settings?
- Gmail App Password is correct?

稼働中に「セッション切れ」しても自動再接続します。

安全装置とエラー対応

サーキットブレーカー (Circuit Breaker)

連続損失や最大ドローダウン (DD) が規定値を超えた場合、システムは自動停止します。

復帰にはリスク状態の確認が必要です。

システム停止

よくあるエラー (Common Errors)

- 通知メールが来ない: 迷惑メールフォルダとアプリパスワードを確認。
- API制限: スクリーニング連打時は少し待機。
- 銘柄リストが空: JPXサイトの仕様変更の可能性あり。

チェックリスト

サポートと付録情報

成功への鍵



規律ある運用と、定期的なログ確認
が安定収益への第一歩です。

サポート連絡時



エラーメッセージ、実行環境、
再現手順を添えてください。

Appendix参照



- ポジションサイズ計算式（資金
50万円・株価1000円の例）



- ファイル構成詳細

Safe Trading & Good Luck.